

# Dr.わーだーの養生記

vol.47

「お正月のあそび」

こちいいん                      わだ とよふみ  
心血医院    院長 和田 豊郁



1901年に発表された童謡「お正月」東クメ作詞、滝廉太郎作曲。お正月にやりたいワクワクするあそびとして、凧揚(たこあげ)、独楽回(こままわし)、毬(まり)つき、追羽根(おいばね)つきが歌われます。羽根つきはこどもの厄払い、凧も独楽も上手な大人のワザを見せる機会。毬つきはゴムまりの普及で正月あそびからは脱落。このほか、かるた取り(百人一首)、めんこ、おはじき、おてだま、紙風船なども見かけなくなりました。近年のコロナ感染拡大防止を受け、とうとう凧揚げもかるた取りもテレビで放送されなくなりました。ここに挙げたあそびはどれも瞬発力を使います。筋肉を素早くぎゅっと使うと熱が発生します。つまり寒い時にうってつけのからだを温まる本能が成せるワザというわけです。お正月の厳かな張りつめた空気がサッシと暖房のおかげで消え去った現代。お正月っぽさがなくなったと思っていたら、その裏では寒さに対抗する本能が働かず大人の深刻な運動不足が進行していました。



## ■ 心血医院(こちいいん)

久留米市日吉町14-68 / TEL.0942-65-5129

診療時間:〈月~土〉9:00~12:00、〈月火・木金〉19:00~22:00

休診日:日祝・盆・年末年始